



# 俳句ゆめクラブ会報

2021年12月14日

第139号

絵馬飾る氷川の社冬さ中  
着ぶくれて氷川神社に詣でけり

小林健一郎  
八千代幸男

久々の吟行、今年はコロナ禍の為に以前の様な活動が出来ず通信句会も経験したが最後の締めくくりとして吟行が行えたのは喜ばしいことである。

この冬に入ってから一番の寒さとの予報で皆厚着して大宮公園へ。吟行途中で雨も降り出し些か大変な思いもしたが風がなかったのが不幸中の幸い、寒さの中の吟行も又一つの貴重な体験となった。

句会終了後、近くに在住の岡田氏のご厚意により奥様がご自宅で用意なされたコーヒー、紅茶を持参下さり忘年会代わりとしてお菓子も頂きながら茶話会のひと時を楽しく過ごした。奥様に心より感謝。

〔句会〕博物館講座室 12時半～14時40分

## 梅田先生の句

太幹の菰巻きて松引きしまり  
楼門の鈍き朱色や初しぐれ  
冷やかに振り返りたる鴉の目

## 梅田先生選

《特選》

裸木のメタセコイヤの傘のごと  
冬ざれの杜の奥なる神の水  
曖昧なもの投げ捨てて冬木立  
冬木立曇天支へ揺るぎなし

岡田時雄  
岩松忠子  
浅見法子  
八千代幸男

着ぶくれて我が身のまこと不様なり

落葉道そつと踏みしめ宮詣で

氷川社の万両の実の豊かなり

閃々と水面に鴨の羽音せり

シベリアの気配など無く鴨の群れ

参道に無垢なる白さ花八つ手

みぞれ降る古き板碑の文字の失せ

萎へてなほ風に負けざる枯尾花

水の面の透け立ち上がる枯木立

《入選》

湧水の蛇池めぐり冴ゆる空

着ぶくれて坂道ころげてしまひけり

菰巻いて幹つややかに松の青

凍て空や子猿三匹毛づくろひ

悴むや説明真面目に聞く子たち

裸木の群れ咲く時の来たるまで

神の池小雨ものかは浮寝鳥

冬ざれや社の奥の蛇の池

水鳥の餌やりと紛うて集ひ来し

細枝の先のうすれて冬木立

底冷えの博物館に子らの声

曇降る傘もささずに打たれけり

曇降る気もそぞろなり先急ぐ

箒持ち宮司ひとりで落ち葉寄せ

底冷えや檻の子猿は毛繕ひ

浅見法子

瀬戸川公子

鈴木幸恵

大井昭子

小林健一郎

岡田時雄

岩松忠子

小林健一郎

大井昭子

鈴木幸恵

瀬戸川公子

大井昭子

八千代幸男

長澤輝子

鈴木幸恵

宮島昭夫

長澤輝子

宮島昭夫

岡田時雄

岩松忠子

浅見法子

長澤輝子

瀬戸川公子

宮島昭夫

## 互選

太幹の菰巻きて松引きしまり (4票)

曖昧なもの投げ捨てて冬木立 (3票)

細枝で霞む桜の冬木立 (3票)

ぼつてりと万両の実の豊かなり (3票)

シベリアの気配を背に鴨の群れ (3票)

楼門の鈍き朱色や初しぐれ (7票)

冷やかに振り返りたる鴉の目 (4票)

水面に透けて影さす枯木立 (4票)

梅田ひろし

浅見法子

岡田時雄

鈴木幸恵

小林健一郎

梅田ひろし

梅田ひろし

大井昭子

〔決定事項・連絡事項〕

・次回句会 令和4年1月25日(火) 13時より

県活 203号セミナー室

兼題 「初雀」

他に自由題で二句合計三句提出のこと。

・次回より句会前のご案内は致しませんので、各自お忘れのなきようご参加下さい。

・この一年のご協力を感謝致します、皆さま良いお年をお迎え下さい。

(小林健一郎記)